

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 24 日 (2011.11.24)

【公表番号】特表 2010-525633 (P2010-525633A)

【公表日】平成 22 年 7 月 22 日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報 2010-029

【出願番号】特願 2010-502973 (P2010-502973)

【国際特許分類】

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 W 36/00 (2009.01)

H 0 4 W 48/16 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 6 5

H 0 4 Q 7/00 3 0 2

H 0 4 Q 7/00 4 0 1

H 0 4 Q 7/00 5 4 8

H 0 4 Q 7/00 5 4 6

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 5 日 (2011.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のセル内でダウンリンクをブロードキャストする方法であって、
各々がタイムスロットに割り当てられている通常のサブフレームとオプションの M B S F N サブフレームとを含む第 1 の物理構造により搬送される第 1 の基準信号をブロードキャストするステップであって、1 以上のタイムスロットはオプションで前記ダウンリンクの伝送方向での前記割り当てに使用されず、前記第 1 の物理構造は、所定の O F D M シンボルにより搬送されかつ前記サブフレーム内の所定のサブキャリアにより搬送される基準信号をさらに含む、ステップを含み、

隣接セル内の第 2 の基準信号を搬送するための第 2 の物理構造を示す情報をブロードキャストするステップをさらに含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 2 の物理構造を示す前記情報は、ダウンリンク伝送方向のタイムスロットの割り当てに関連することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 の物理構造を示す前記情報は、前記 M B S F N サブフレームを搬送するタイムスロットの割り当てに関連することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 2 の物理構造を示す前記情報は、移動端末による隣接セル測定の実行に使用されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 の物理構造の前記情報は、隣接セル測定に何れのサブフレームを使用するかを示す情報を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 の物理構造の前記情報は、隣接セル測定に各サブフレームの何れのシンボルを使用するかを示す情報を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記基準信号を搬送している前記シンボルは、サブキャリアの 1 以上の組および各サブフレーム内のシンボルのシーケンス内の所定の 1 以上の位置に割り当てられることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記隣接セル測定に使用される前記サブフレームは、全ての隣接セルによりダウンリンク伝送に使用されるサブフレームであることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

各サブフレーム内の基準信号を搬送するための全ての隣接セルにより使用されるシンボルのみが基準信号測定を目的として通知されることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 2 の物理構造は、サブフレーム分類により示されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 および第 2 の基準信号は、それらがブロードキャストされるセルに特有であることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

各々がタイムスロットに割り当てられている通常のサブフレームとオプションの MBSFN サブフレームとを含む第 1 の物理構造によって基準信号をブロードキャストするように構成された送受信機であって、1 以上のタイムスロットはオプションでダウンリンクの伝送方向での前記割り当てに使用されず、前記第 1 の物理構造は、所定の OFDM シンボルにより搬送される基準信号をさらに含み、前記所定の OFDM シンボルは、前記通常のサブフレームと前記 MBSFN サブフレームとで異なる、送受信機を含み、

前記送受信機は、隣接セル内の第 2 の基準信号を搬送するための第 2 の物理構造を示す情報をブロードキャストするようさらに構成されていることを特徴とする無線基地局。

【請求項 13】

前記第 2 の物理構造を示す前記情報をダウンリンク伝送方向のタイムスロットの割り当てに関連付けるよう制御するよう構成されたソフトウェアを有するコンピュータをさらに含むことを特徴とする請求項 12 に記載の無線基地局。

【請求項 14】

前記第 2 の物理構造を示す前記情報を前記 MBSFN サブフレームを搬送するタイムスロットの割り当てに関連付けるよう制御するよう構成されたソフトウェアを有するコンピュータをさらに含むことを特徴とする請求項 12 に記載の無線基地局。

【請求項 15】

前記第 2 の物理構造上の情報を受信する外部ユニットに前記無線基地局を接続するのに適しておりコンピュータに接続されたインタフェースを含むことを特徴とする請求項 12 に記載の無線基地局。

【請求項 16】

第 1 の物理構造を有する基準信号を送信している第 1 のセルにキャンプしている端末に適した方法であって、

前記第 1 のセルに隣接するセルの第 2 の基準信号を搬送する第 2 の物理構造のブロードキャスト表示を検出するステップ (91) であって、前記表示はダウンリンク方向のサブフレームの割り当てに関連している、ステップと、

前記検出された表示に従ってダウンリンクのサブフレーム内の前記第 2 の基準信号を測定するステップ (92) と、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 17】

前記検出された表示は、前記基準信号を搬送する OFDM シンボルにさらに関連しており、前記第 2 の基準信号の前記測定は、表示された前記 OFDM シンボルに対し実行されることを特徴とする請求項 16 に記載の 方法。

【請求項 18】

送受信機とコンピュータとを含み、

前記コンピュータはソフトウェアを有し前記送受信機を介して、

第 1 のセル内でブロードキャストされ、前記第 1 のセルに隣接するセルの基準信号を搬送するためのダウンリンク方向のサブフレームの割り当てに関連している表示を検出し、

前記検出された表示に従ってダウンリンクのサブフレーム内の 第 2 の基準信号を測定する

よう動作可能であることを特徴とする移動端末。

【請求項 19】

前記検出された表示は、前記基準信号を搬送する OFDM シンボルにさらに関連しており、前記第 2 の基準信号の前記測定は、表示された前記 OFDM シンボルに対し実行されることを特徴とする請求項 18 に記載の移動端末。